

昭和四年四月十五日第三種郵便物認可

鳥取県公報

毎週火曜日及び
金曜日発行
(当日は、
休むとき
は、その
翌日
当たりの
日とする)

目次
◇規 則 鳥取県会計規則の一部を改正する規則

規 則

鳥取県会計規則の一部を改正する規則をここに公布する。

昭和五十五年三月三十一日

鳥取県知事 平 林 鴻 三

鳥取県規則第十一号

鳥取県会計規則の一部を改正する規則

鳥取県会計規則(昭和三十九年三月鳥取県規則第十一号)の一部を次のように改正する。

第二十七条第四項及び第二十八条第一項中「領収済通知書を接続した納入通知書又は払込書」を「領収済通知書」に改める。

第五十六条第一項中「第五十八条第二項」の下に「及び第五十八条の第二項」を加える。

第五十八条の次に次の一条を加える。

(口座振替による支払の取消し)

第五十八条の二 出納長又は出納員は、口座振替による支払をしたものについて、指定出納取扱店又は出納取扱店から歳出金銀行振込不能報告書の送付を受けたときは、その支払の取消しの手続をしなければならない。

2 前条第二項及び第三項の規定は、前項の支払の取消しについて準用する。

第五十九条第一項中「前条第二項」を「第五十八条第二項(前条第二項において準用する場合を含む。次項において同じ。)」に改め、同条第二項中「前条第二項」を「第五十八条第二項」に改める。

第六十三条に次の一項を加える。

3 指定出納取扱店又は出納取扱店は、第一項の規定により口座振替をしようとする場合において、債権者の口座の変更その他の理由によりその振込みができないときは、歳出金銀行振込不能報告書(様式第二十二号の二)を出納長又は出納員に送付しなければならない。

第八十九条第一項中「支出仕訳書」の下に「又は資金前渡(概算払)精算書」を加える。

第九十一条第一項中「みづから」を「自ら」に改め、同項ただし書を次のように改める。

ただし、特別の理由がある場合においては、現金を郵便局又は確実な金融機関に預金し、又は有価証券を指定出納取扱店に寄託して、これを保管することができる。

第九十三条の見出しを「(歳入歳出外現金の納付)」に改め、同条第一項中「保証金等」を「歳入歳出外現金」に改め、同項に次のただし書を加える。

ただし、知事が定める歳入歳出外現金については、納付書により指定出納取扱店に納付することができる。

第九十三条第二項中「保証金等」を「歳入歳出外現金」に改める。

第三百三十八条第二項の次に次の一項を加える。

3 部の長は、毎会計年度における基金の運用状況を翌年度の六月十日までに出納長に通知しなければならない。

別表第一の一の表中「一 青年の家一使用料その他の歳入金の収納に関する事務」を削る。

別表第一の二の表中「農業試験場」を「野菜試験場」に改める。

「様式第二十二号

様式目次中「様式第二十二号 銀行振込通知書」を

様式第二十二号の

銀行振込通知書

に改め、「様式第八十三号の二現金出納

簿(収納代理金融機関)」を削る。

簿(収納代理金融機関)」を削る。

様式第一号中「様式第一号」を「様式第一号(第10条、第20条関係)」に改める。

様式第二号中「様式第2号」を「様式第2号(第14条関係)」に改め、同様式(1)及び(2)を次のように改める。

(1) 本庁(表)

カードNo	書類区分	納入通知書・領収証書 右の金額を納入してください。 年 月 日 鳥取県知事 氏名 印	金額				百万	千	円
年 度	会 計		ただし、 収入区分 通知番号						
主 務 課									
書 類 No									
納期限									
款	項	(納入者) 住所 氏名 殿	納 入 場 所		上記金額を領収しました。 年 月 日 銀行 店 [㊤]				
目	節		銀行 店						
又 是									
細 節									
		この納入通知書は、4枚1組の複写式になつていますから、4枚とも納入場所に提出してください。							

(裏)

刷 込 カ ー ボ ン	刷 込 カ ー ボ ン
-------------	-------------

(表)

カードNo 1	書類区分 3	領収済通知書 (納入通知書)	金額	35	37	百万	40	千	43	円	
年度 5	会計 7		ただし、	収入区分 57							
主務課											
9	14										
書類No 15	18		(納入者) 住所 氏名	通知番号 59							
収入年月日 19										納期限	年
款項 25	27	上記金額を領収したので通知します。									
目節 29	31	年 月 日									
細節 33		銀行 店 ⑥									
			鳥取県出納長 氏 名 殿								

(裏)

刷込カーボン	
刷込カーボン	

(表)

カードNo. 1	書類区分 3	領収済通知書 (納入通知書)	金額	35	37	百円	40	千	48	円
年 度 5	会 計 7		ただし、	収入区分						
主 務 課				57						
9	14			通知番号						
書 類 No. 15 18				59						
収 入 年 月 日 19 24		(納入者) 住所 氏名	納期限	年 月 日						
款 項 25 27	上記金額を領収したので通知します。									
目 節 29 31	年 月 日									
細 節 33	銀行 店 ㊤									
		鳥取県知事 氏 名 殿								

(裏)

		刷 込 カ ー ボ ン	
刷 込 カ ー ボ ン			

カードNo	書類区分	領収済通知書(納入通知書 指定出納取扱店用)	金額			
年 度	会 計			百万		千
主 務 課			ただし、			
書 類 No			通知番号			
		納期限	年	月	日	
款 項		(納入者) 住所 氏名	上記金額を領収しました。			
目 節			年	月	日	
細 節			銀行	店	Ⓜ	
			指定出納取扱店 御中			

備 考

- 1 用紙寸法は、各片ともおおむね縦9cm、横21cmとする。
- 2 各片は、左端をのり付けにより接続し、左端から1cmのとじしろを設けることとする。
- 3 住所氏名欄は、左端から4.5cm、上端から4.5cmをこえる部分に縦3.5cm、横8cmの大きさで設けることとする。
- 4 納入場所欄の「銀行 店」には指定出納取扱店名を記載し、「又は」以下には指定金融機関等の名称を記載する。

(2)

解 (表)

第 号	納入通知書・領収証書	金額				百万	千	円
年度歳入	右の金額を納入してください。 年 月 日	ただし、						
一般会計 (特別)								
(款)	麻長 氏 名 園	納期限	年 月 日					
(項)	住所 (納入者) 氏名 殿	納入場所	上記金額を領収しました。					
(目)		銀行 店	年 月 日					
(節)		又は	銀行 店®					
(細節)		この納入通知書は、3枚1組の複写式になっていますから、3枚とも納入場所に提出してください。						

(裏)

	刷 込 カ ー ボ ン
刷 込 カ ー ボ ン	

(表)

第 号	領収済通知書 (納入通知書)	金額				百万	千	円
年度歳入		ただし、						
一 般 会 計 (特別)	納期限							
(款)								年 月 日
(項)	上記金額を領収したので通知します。							
(目)								年 月 日
(節)	銀行 店 ④							
(細節)								麻 長 氏名 殿 出納員 氏名
	(納入者) 住所 氏名							

(裏)

刷 込 カ ー ボ ン	
刷 込 カ ー ボ ン	

第 号	領収済通知書(納入通知書 指定出納取扱店用)	金額			
年度歳入			百万	千	円
一 般 会 計 (特別)		ただし、			
(款)					
(項)		納期限	年	月	日
(目)		上記金額を領収しました。			
(節)		年 月 日			
(細節)	住所 (納入者) 氏名	銀行 店 ㊤			
		指定出納取扱店 御中			

備 考

- 1 用紙寸法は、各片ともおおむね縦9cm、横21cmとする。
- 2 各片は、左端をのり付けにより接続し、左端から1cmのとじしろを設けることとする。
- 3 住所氏名欄は、左端から4.5cm、上端から4.5cmをこえる部分に縦3.5cm、横8cmの大きさで設けることとする。
- 4 同一人に、同一会計で2以上の科目にわたる収入金の納入の通知をする場合は、科目欄には共通する科目までを記載するとともに、金額欄にはその合計金額を記載し、その下欄に内訳科目金額を記載する。
- 5 納入場所欄の「 銀行 店」には指定出納取扱店名を記載し、「又は」以下には指定金融機関等の名称を記載する。

様式第一号の二を次のように改める。

様式第2号の2 (第15条、第93条関係) (1)

本庁 (表)

カードNo.	書類区分	納付書・領収証書	金額				百万	千	円
年度	会計		右の金額を納付します。 年 月 日	ただし、				収入区分	
主務課								納付番号	
書類No.									
款 項		(納付者) 住所 氏名	上記金額を領収しました。						
目 節			年 月 日						
細 節			銀行 店 ④						
			この納付書は、4枚1組の複写式 になっていますから、4枚とも納 付場所に提出してください。						

(裏)

<p>刷 込 カ ー ボ ン</p>	<p>刷 込 カ ー ボ ン</p>
--------------------	--------------------

(表)

カードNo 1	書類区分 3	領収済通知書 (納付書)	金額	35	37	百万	40	千	43	円	
年 度 5	会 計 7		ただし、								収入区分 57
主 務 課											納付番号 59
9	14										
書 類 No 15	18										
収入年月日 19		(納付者) 住所 氏名	上記金額を領収したので通知します。								
款 項 25	27		年 月 日								
目 節 29	31		銀行 店 ②								
細 節 33			鳥取県出納長 氏 名 殿								

(裏)

刷 込 カ ー ボ ン	
刷 込 カ ー ボ ン	

(表)

カードNo 1	書類区分 8	領収済通知書(納付書)	金額	35	37	百万40	千48	円	
年度 5	会計 7		ただし、						収入区分 57
主 務 課									納付番号 59
9	14		上記金額を領収したので通知します。						
書類No 15	18								
収入年月日 19		24							
款 項 25	27	(納付者) 住所 氏名	年 月 日						
目 節 29	31		銀行 店 ④						
細 節 33			鳥取県知事 氏 名 殿						

(裏)

刷 込 カ ー ボ ン	
刷 込 カ ー ボ ン	

カードNo	書類区分	領収済通知書(納付書 指定出納取扱店用)	金額					円
年 度	会 計		ただし、					収入区分
主 務 課								納付番号
書 類 No								
款 項		(納付者) 住所 氏名	上記金額を領収しました。					
目 節			年 月 日					
細 節			銀行 店 ④					

備 考

- 1 用紙寸法は、各片ともおおむね縦9cm、横21cmとする。
- 2 各片は、左端をのり付けにより接続し、左端から1cmのとじしろを設けることとする。
- 3 住所氏名欄は、左端から4.5cm、上端から4.5cmをこえる部分に縦3.5cm、横8cmの大きさで設けることとする。
- 4 納付する現金が歳入歳出外現金であるときは、「一般(特別)会計」欄は、「歳入歳出外現金」と記載する。

(2)		磨 (表)			
第 号	納付書・領収証書	金額	百万	千	円
年度歳入	右の金額を納付します。 年 月 日	ただし、			
一 般 会 計 (特別)					
(款)	(納付者) 住所 氏名	上記金額を領収しました。 年 月 日 銀行 店 ④			
(項)					
(目)					
(節)					
(細節)					
この納付書は、3枚1組の複写式 になっていますから、3枚とも納 付場所に提出してください。					

(裏)	
刷 込 カ ー ボ ン	刷 込 カ ー ボ ン

(表)

第 号	領収済通知書 (納付書)	金額	百万	千	円
年度歳入		ただし、 上記金額を領収したので通知します。 年 月 日 銀行 店 ④ 麻長氏 名 殿 出納員氏 名			
一般会計 (特別)					
(款)					
(預)					
(目)					
(節)	住所 (納付者) 氏名				
(細節)					

(裏)

	刷込カーボン
刷込カーボン	

第 号	領収済通知書(納付書 指定出納取扱店用)	金額	百万	千	円	
年度歳入		ただし、 上記金額を領収しました。 年 月 日 銀行 店 ④				
一般会計 (特別)						
(款)						
(項)						
(目)	住所 (納付者) 氏名					
(節)						
(細節)						

備 考

- 1 用紙寸法は、各片ともおおむね縦9cm、横21cmとする。
- 2 各片は、左端をのり付けにより接続し、左端から1cmのとじしろを設けることとする。
- 3 住所氏名欄は、左端から4.5cm、上端から4.5cmをこえる部分に縦3.5cm、横8cmの大きさで設けることとする。
- 4 同一人に、同一会計で2以上の科目にわたる収入金の納入の通知をする場合は、科目欄には共通する科目までを記載するとともに、金額欄にはその合計金額を記載し、その下欄に内訳科目金額を記載する。
- 5 納付する現金が歳入歳出外現金であるときは、「一般(特別)会計」欄は、「歳入歳出外現金」と記載する。

様式第三号中「様式第3号」を「様式第3号(第18条関係)」と改める。
様式第四号中「様式第4号」を「様式第4号(第18条の2関係)」と改める。

様式第五号中「様式第5号」を「様式第5号(第21条、第22条関係)」に改める。

様式第六号を次のように改める。

様式第6号 (第22条、第26条、第94条、第95条関係) (1)

本庁 (表)

カードNo	書類区分	払込書・領収証書 右のとおり払い込みます。 年 月 日	金額				百万	千	円	
年 度	会 計		(払込者) 住所 氏名	ただし、 上記金額を領収しました。 年 月 日 銀行 店 ㊤				収入区分		
主 務 課								払込番号		
書 類 No										
款	項									
目	節									
細 節										
		この払込書は、4枚1組の複写式 になっていますから、4枚とも払 込場所に提出してください。								

(裏)

刷 込 カ ー ボ ン	刷 込 カ ー ボ ン
-------------	-------------

(表)

カードNo 1	書類区分 3	領収済通知書(払込書)	金額	35	37	百万40	千43	円					
年度 5	会計 7		ただし、	収入区分 57									
主 務 課									払込番号 59				
9	14												
書類No 15	18	(払込者) 住所 氏名	上記金額を領収したので通知します。										
収入年月日 19			年 月 日										
款 項 25	27		銀行 店 ④										
目 節 29	31		鳥取県出納長 氏 名 殿										
細 節 33													

(裏)

刷 込 カ ー ボ ン		刷 込 カ ー ボ ン	
-------------	--	-------------	--

(表)

カードNo 1	書類区分 3	領収済通知書(払込書)	金額	35	37	百万40	千43	円
年 度 5	会 計 7		ただし、	収入区分 57				
主 務 課								
9.	14							
書類 No 15	18							
収入年月日 19		(払込者) 住所 氏名	上記金額を領収したので通知します。					
款 項 25	27		年 月 日					
目 節 29	31		銀行 店 ④					
細 節 33			鳥取県知事 氏 名 殿					

(裏)

刷 込 カ ー ボ ン	
刷 込 カ ー ボ ン	

カードNo	書類区分	領収済通知書(払込書 指定出納取扱店用)	金額				円	
年 度	会 計		ただし、					収入区分
主 務 課								払込番号
書 類 No								
款 項		(払込者) 住所 氏名	上記金額を領収しました。					
目 節			年 月 日					
細 節			銀行 店 ④					

備 考

- 1 用紙寸法は、各片ともおおむね縦9cm、横21cmとする。
- 2 各片は、左端をのり付けにより接続し、左端から1cmのとじしろを設けることとする。
- 3 住所氏名欄は、左端から4.5cm、上端から4.5cmをこえる部分に縦3.5cm、横8cmの大きさで設けることとする。

(2)

解 (表)

第 号	払込書・領収証書	金額	百万	千	円
年度歳入	右のとおり払い込みます。 年 月 日	ただし、			
一 般 会 計 (特別)					
(款)	住所 (払込者) 氏名	上記金額を領収しました。 年 月 日 銀行 店 ④			
(項)					
(目)					
(節)					
(細節)					
この払込書は、3枚1組の複写式になっていますから、3枚とも払込場所に提出してください。					

(裏)

刷 込 カ ー ボ ン	刷 込 カ ー ボ ン
刷 込 カ ー ボ ン	刷 込 カ ー ボ ン

(表)

第 号	領収済通知書 (払込書)	金額	百万	千	円
年度歳入		ただし、			
一般会計 (特別)					
(款)					
(項)					
(目)					
(節)	住所 (払込者) 氏名	上記金額を領収したので通知します。			
(細節)		年 月 日 銀行 店 ④ 麻長氏 名 殿 出納員氏 名			

(裏)

刷 込 カ ー ボ ン	刷 込 カ ー ボ ン
-------------	-------------

第 号	領収済通知書(払込書 指定出納取扱店用)	金額			
		百万	千	円	
年度歳入		ただし、			
一般会計 (特別)					
(款)					
(項)		上記金額を領収しました。			
(目)		年 月 日			
(節)	(払込者) 住所 氏名	銀行 店 ⑥			
(細節)					

備 考

- 1 用紙寸法は、各片ともおおむね縦9cm、横21cmとする。
- 2 各片は、左端をのり付けにより接続し、左端から1cmのとじしろを設けることとする。
- 3 住所氏名欄は、左端から4.5cm、上端から4.5cmをこえる部分に縦3.5cm、横8cmの大きさで設けることとする。
- 4 同一人に、同一会計で2以上の科目にわたる収入金の納入の通知をする場合は、科目欄には共通する科目までを記載するとともに、金額欄にはその合計金額を記載し、その下欄に内訳科目金額を記載する。

様式第七号中「様式第7号」や「様式第7号(第25条、第28条関係)」に改める。

様式第八号中「様式第8号」や「様式第8号(第25条関係)」と改める。

様式第九号中「様式第9号」や「様式第9号(第26条関係)」と改める。

様式第九号の二中「様式第9号の2」や「様式第9号の2(第27条関係)」と改める。

様式第十号中「様式第10号」や「様式第10号(第28条関係)」と改める。

様式第十一号中「様式第11号」や「様式第11号(第33条関係)」と改める。

様式第十二号中「様式第12号」や「様式第12号(第33条関係)」と改める。

様式第十三号中「様式第13号」や「様式第13号(第34条関係)」と改める。

様式第十四号中「様式第14号」や「様式第14号(第36条関係)」と改める。

様式第十四号の二中「様式第14号の2」や「様式第14号の2(第38条の2関係)」と改める。

様式第十五号中「様式第15号」や「様式第15号(第38条の2、第40条、第58条、第59条関係)」と改める。

様式第十六号及び様式第十七号を次のように改める。

様式第16号 (第73条、第76条関係) (B列5号)

資 金 前 渡 (概 算 払) 精 算 書										
部長		課長			出納長		副出納長		会計課長	
総務室長		合議		主査		合議		主査		
下記のとおり精算してよいか伺います。					年 度		年 度			
					会 計 名		会 計			
¥					科	款				
						項				
					目					
					目	節				
						細節				
資金前渡 (概算払) 受 額					返納通知書 第 号		発行年月日		年 月 日	
精 算 額							納入期限		年 月 日	
差 引 額										
年 月 日 のため受けた資金前渡 (概算払) の額を別添証拠書類 葉を添付して精算します。 年 月 日 所属課 職 氏 名 ㊦ 鳥取県知事 氏 名 殿 上記のとおり相違ないことを証明します。 職 氏 名 ㊦										
同 書 照 合 済			資金前渡 (概算払) 整理簿記帳済							

備考 決裁欄は、廳においては、「部長」を「廳長」とし、その他は、本庁に準じてそれぞれ書き改めるものとする。

様式第17号 (第39条関係) (B列6号)

銀行振込依頼書

振込金額	¥	
振込先銀行名	銀行店	
振込口座	預金種別	
	口座番号	
受領金の内容		

貴庁(麻)から受ける上記の金額を預金口座に振り込んでください。

年 月 日

受取人

住所

氏名



鳥取県知事 氏 名 殿

(麻長)

様式第十八号中「様式第18号」を「様式第18号(第41条、第42条、第43条、第46条、第48条、第49条、第50条、第67条関係)」と改める。
様式第十九号を次のように改める。

様式第19号 (第46条関係)

歳出金銀行振込請求書

年 月 日
小切手 第 号

鳥取県出納長 氏 名 印
(出納員の職氏名)

年度歳出
一般
(特別) 会 計

番 号	受 取 人 住 所	金 額	振 込 先		備 考
	受 取 人 氏 名		金融機関名	預金種別・ 口座番号	
		円	銀行	預金	
			店 番		

	追 次 計				

- 備考 1 複写式とし、一部は小切手に添付して指定金融機関等に交付し、一部は控えとして保存する。
- 2 歳入金又は歳入歳出外現金から振込みをするときは、「歳出」とあるのは「歳入金」又は「歳入歳出外現金」と書き改めることとする。

様式第二十号中「様式第20号」を「様式第20号（第48条、第51条、第61条関係）」に改める。

様式第二十一号中「様式第21号」を「様式第21号（第51条、第61条、第62条、第97条関係）」に改める。

様式第二十二号中「様式第22号」を「様式第22号（第63条関係）」に改め、同様式の次に次の一様式を加える。

様式第22号の2 (第63条関係) (B列6号)

歳出金銀行振込不能報告書

小切手振出年月日		年	月	日
小切手番号		記号第	号	
銀行振込請求書番号		第	号	
振込先	金融機関名	銀行店		
	預金種別 及び口座番号	預金種別	口座番号	
金額		¥		
振込不能の事由				
受取人	住所			
	氏名			

上記の口座振替はできないので報告します。

年 月 日

銀行 店 印

鳥取県出納長 氏 名 殿

(廨名出納員)

様式第二十三号中「様式第23号」を「様式第23号（第15条、第46条、第52条、第53条、第78条関係）」とする。

様式第二十四号中「様式第24号」を「様式第24号（第27条、第52条、第64条関係）」とする。

様式第二十五号中「様式第25号」を「様式第25号（第57条関係）」とする。

様式第二十六号及び様式第二十七号を次のように改める。

様式第26号 (第58条関係) (B列6号)

支 払 取 消 請 求 書

年	度	年	度
会	計	会	計
小 切 手 の 券 面 金 額		¥	
小 切 手 番 号		記 号 第 号	
小 切 手 の 振 出 年 月 日		年 月 日	
歳出金送金 (銀行振込) 請求書番号		第 号	
取 消 金 額		¥	
債 権 者	住 所		
	氏 名		

上記の歳出金の支払いを取り消してください。

年 月 日

鳥取県出納長 氏 名 印
(解名出納員)

銀行 店 御中

様式第27号 (第59条関係) (B列6号)

支払取消通知書

年	度	年	度
会	計	名	会 計
小切手の券面金額		¥	
小切手番号		記号 第 号	
小切手の振出年月日		年 月 日	
歳出金送金(銀行振込)請求書番号		第 号	
取 消 金 額		¥	
債 権 者	住 所		
	氏 名		

上記の歳出金の支払いを取り消したので通知します。

年 月 日

銀行 店 図

鳥取県出納長 氏 名 殿
(麿名出納員)

様式第二十八号中「様式第28号」を「様式第28号（第61条、第63条、第64条関係）」に改める。

様式第二十九号中「様式第29号」を「様式第29号（第62条、第67条関係）」に改める。

様式第三十号中「様式第30号」を「様式第30号（第64条関係）」に改める。

様式第三十一号中「様式第31号」を「様式第31号（第67条関係）」に改める。

様式第三十二号中「様式第32号」を「様式第32号（第69条関係）」に改める。

様式第三十三号中「様式第33号」を「様式第33号（第78条関係）」に改める。

様式第三十四号中「様式第34号」を「様式第34号（第79条関係）」に改める。

様式第三十五号中「様式第35号」を「様式第35号（第80条関係）」に改める。

様式第三十六号中「様式第36号」を「様式第36号（第80条関係）」に改める。

様式第三十七号中「様式第37号」を「様式第37号（第81条関係）」に改める。

様式第三十八号中「様式第38号」を「様式第38号（第86条関係）」に改める。

様式第三十九号を次のように改める。

様式第39号 (第29条、第89条関係) (A列6号) (表)

第 号	返納通知書・領収証書	金額			百万	千	円
		年度歳出 一般会計 (特別)					
(款)	右の金額を納入してください。 年 月 日 鳥取県知事 氏 名 団 (廳 長)	納期限		年 月 日			
(項)		納 入 場 所		上記金額を領収しました。			
(目)	(納 入 者) 住所 氏名 殿	銀行 店		年 月 日			
(節)		又は		銀行 店 [㊟]			
(細節)	この返納通知書は、3枚1組の複写式になっていますから、3枚とも納入場所に提出してください。						

(裏)

刷 込 カ ー ボ ン	刷 込 カ ー ボ ン
-------------	-------------

(表)

第 号	領 収 済 通 知 書	金額	百 万	千	円
年度歳出		ただし、			
一 般 会 計 (特別)					
(款)		納期限	年	月	日
(項)		上記金額を領収し、戻入済につき通知します。			
(目)	(納入者) 住所 氏名	年	月	日	
(節)		銀行	店	Ⓜ	
(細節)		鳥取県出納長 氏 名 殿 (解名出納員)			

(裏)

	刷 込 カ ー ボ ン
刷 込 カ ー ボ ン	

第 号	領収済通知書 (指定出納取扱店用)	金額	百 万	千	円
年度歳出		ただし、			
一 般 会 計 (特別)					
(款)		納期限	年	月	日
(項)		上記金額を領収しました。			
(目)	(納入者) 住所 氏名	年	月	日	
(節)		銀行	店	Ⓜ	
(細節)					

備 考

- 1 用紙寸法は各片ともおおむね縦9cm、横21cmとし、用紙は赤刷りとする。
- 2 各片は、左端をのり付けにより接続し、左端から1cmのとじしろを設けることとする。
- 3 住所氏名欄は、左端から4.5cm、上端から4.5cmをこえる部分に縦3.5cm、横8cmの大きさで設けることとする。
- 4 納入場所欄の「銀行 店」には指定出納取扱店名を記載し、「又は」以下には指定金融機関等の名称を記載する。

様式第四十号中「様式第40号」を「様式第40号（第93条関係）」に改める。

様式第四十一号中「様式第41号」を「様式第41号（第93条関係）」に改める。

様式第四十二号中「様式第42号」を「様式第42号（第103条関係）」に改める。

様式第四十三号中「様式第43号」を「様式第43号（第103条関係）」に改める。

様式第四十四号中「様式第44号」を「様式第44号（第104条関係）」に改める。

様式第四十五号を次のように改める。

様式第45号 (第104条関係) (B列5号)

年度 年 月 日 現金現在高報告表

№ _____

区 分	前日残高	受 額	払 額	本日残高	備 考
一 般 会 計					
特 別 会 計 (会 計)					
歳入歳出外現金					
回 送 金					
収 入 振 替 金					
支 出 振 替 金					
支払未済繰越金					
一 時 借 入 金					
合 計					
未 達 回 送 金					
歳 計 現 金					
預託	指定金融機関				
	その他の金融機関				
差 引 運 用 金					

上記のとおり報告します。

年 月 日

鳥取県指定金融機関 統轄店

銀行 店 印

鳥取県出納長 氏 名 殿

様式第四十六号中「様式第46号」を「様式第46号(第109条関係)」に改める。

様式第四十七号中「様式第47号」を「様式第47号(第138条関係)」に改める。

様式第四十八号中「様式第48号」を「様式第48号(第138条関係)」に改める。

様式第四十九号中「様式第49号」を「様式第49号(第138条関係)」に改める。

様式第五十号中「様式第50号」を「様式第50号(第138条関係)」に改める。

様式第五十一号中「様式第51号」を「様式第51号(第149条関係)」に改める。

様式第五十二号中「様式第52号」を「様式第52号(第149条関係)」に改める。

様式第五十三号中「様式第53号」を「様式第53号(第152条、第172条関係)」に改める。

様式第五十四号中「様式第54号」を「様式第54号(第153条、第172条関係)」に改める。

様式第五十五号中「様式第55号」を「様式第55号(第172条関係)」に改める。

様式第五十六号中「様式第56号」を「様式第56号(第154条、第172条関係)」に改める。

様式第五十七号中「様式第57号」を「様式第57号(第152条、第155条関係)」に改める。

様式第五十八号中「様式第58号」を「様式第58号(第153条、第155条関係)」に改める。

様式第五十九号中「様式第59号」を「様式第59号(第155条関係)」に改める。

様式第六十号中「様式第60号」を「様式第60号(第10条、第20条、第160条関係)」に改める。

様式第六十一号中「様式第61号」を「様式第61号(第160条関係)」に改める。

様式第六十二号中「様式第62号」を「様式第62号(第160条関係)」に改める。

様式第六十三号中「様式第63号」を「様式第63号(第160条関係)」に改める。

様式第六十四号中「様式第64号」を「様式第64号(第160条関係)」に改める。

様式第六十五号中「様式第65号」を「様式第65号(第21条関係)」に改める。

様式第六十六号中「様式第66号」を「様式第66号(第42条、第52条関係)」に改める。

様式第六十七号中「様式第67号」を「様式第67号(第160条関係)」に改める。

様式第六十八号中「様式第68号」を「様式第68号(第160条関係)」に改める。

様式第六十九号中「様式第69号」を「様式第69号(第160条関係)」に改める。

様式第七十号中「様式第70号」を「様式第70号(第160条関係)」に改める。

「同様式」を「同様式」に改める。

(2)

資 金 前 渡 (概 算 払) 整 理 簿

(出納員)

記帳月日	氏 名	期 間	資金前 渡概算 支払額 円	精算額 円	精 算 月 日	精 算 の 結 果		返			納	
						追給額 円	返納額 円	通知書 番	発行日	納付指 定月日	納付済 月 日	
		~										
		~										
		~										
		~										
		~										
		~										

備考 資金前渡及び概算払以外による返納の場合も、この様式による。

様式第七十一号中「様式第71号」を「様式第71号（第160条関係）」に改める。

様式第七十二号中「様式第72号」を「様式第72号（第21条、第160条関係）」に改める。

様式第七十三号中「様式第73号」を「様式第73号（第160条関係）」に改める。

様式第七十四号中「様式第74号」を「様式第74号（第160条関係）」に改める。

様式第七十五号中「様式第75号」を「様式第75号（第160条関係）」に改める。

様式第七十六号中「様式第76号」を「様式第76号（第160条関係）」に改める。

様式第七十七号中「様式第77号」を「様式第77号（第160条関係）」に改める。

様式第七十八号中「様式第78号」を「様式第78号（第160条関係）」に改める。

様式第七十九号中「様式第79号」を「様式第79号（第160条関係）」に改める。

様式第八十号中「様式第80号」を「様式第80号（第102条、第160条関係）」に改める。

様式第八十一号中「様式第81号」を「様式第81号（第160条関係）」に改める。

様式第八十二号中「様式第82号」を「様式第82号（第160条関係）」に改める。

様式第八十三号中「様式第83号」を「様式第83号（第160条関係）」に改める。

様式第八十四号中「様式第84号」を「様式第84号（第160条関係）」に改める。

様式第八十五号中「様式第85号」を「様式第85号（第160条関係）」に改める。

様式第八十六号中「様式第86号」を「様式第86号（第160条関係）」に改める。

様式第八十七号中「様式第87号」を「様式第87号（第31条、第160条関係）」に改める。

様式第八十八号中「様式第88号」を「様式第88号（第81条、第160条関係）」に改める。

様式第八十九号中「様式第89号」を「様式第89号（第160条関係）」に改める。

様式第九十号中「様式第90号」を「様式第90号（第100条関係）」に改める。

様式第九十一号中「様式第91号」を「様式第91号（第170条関係）」に改める。

様式第九十二号中「様式第92号」を「様式第92号（第171条関係）」に改める。

附 則

(施行期日)
1 この規則は、昭和五十五年四月一日から施行する。

(会計事務の処理に必要な書類の様式の特例に関する規則の一部改正)

2 会計事務の処理に必要な書類の様式の特例に関する規則(昭和四十五年三月鳥取県規則第二十七号)の一部を次のように改正する。

第二条の表中

納入通知書

知 事

様式第二号

を削る。

様式第一号中「様式第一号」を「様式第一号(第2条関係)」に改める。

様式第二号を次のように改める。

様式第2号 監 査

様式第三号中「様式第3号」を「様式第3号(第2条関係)」に改め、同様式その一を削り、同様式その二を同様式とする。

様式第四号中「様式第4号」を「様式第4号(第2条関係)」に改める。

様式第五号中「様式第5号」を「様式第5号(第2条関係)」に改める。

様式第六号中「様式第6号」を「様式第6号(第2条関係)」に改める。

様式第七号中「様式第7号」を「様式第7号(第2条関係)」に改める。

(部における会計事務手続の特例に関する規則の一部改正)

3 部における会計事務手続の特例に関する規則(昭和四十三年六月鳥取県規則第五十四号)の一部を次のように改正する。
様式第三号を次のように改める。

様式第3号 (第2条関係) (B列5号)

歳出金送金銀行振込内訳書					
		年度	歳出	一般	
					会計
				作成者印	
				照合印	
				主務課	
受取人住所	受取人氏名	金額	送金先又は振込先		備考
			金融機関名	預金種別・口座番号	
		円	銀行	預金	
			店	No.	
小計			(枚中の)		
合計					

- 備考 1 この様式は、1枚の支出仕訳書で2人以上の債権者に対し隔地払又は口座振替をする場合に作成し、支出仕訳書に添付する。
- 2 表題の(送金銀行振込)は、用途により送金又は銀行振込のいずれかを消して使用することとする。
- 3 送金先又は振込先欄は、県内の金融機関又は県外の指定金融機関に送金する場合は、金融機関名のみを記載し、県外の金融機関で指定金融機関以外のものに送金する場合は記載しない。
- 4 この様式は、歳出金送金銀行振込請求書(様式第4号(2)2枚(正副))と複写する。

(2) (B列5号)

様式第四号(2)を次のように改める。

歳 出 金 送 金 請 求 書 銀行振込			年 月 日
			小切手 第 号
		年度	歳出 一般 会計
下記のとおり請求します。			
鳥取県出納長 氏 名 園			
銀行 店 殿			
主務課			
請求 番号	受 取 人 住 所	金 額	送金先又は振込先
	受 取 人 氏 名		金融機関名 預金種別・口座番号 (支払年 月 日)
		円	銀行 預金 店 No
小 計			(枚中の)
合 計			

- 備考 1 この様式は、複写式とし、一部は小切手に添付して、指定金融機関等に交付し、一部は控えとして保存する。
- 2 歳入金又は歳入歳出外現金から送金又は銀行振込みをするときは、「歳出」とあるのは、「歳入金」又は「歳入歳出外現金」と書き改めることとする。
- 3 表題の(送金)は、用途により送金又は銀行振込のいずれかを消して使用することとする。

(表面)

様式第五号(表面)を次のように改める。

<p>第 年 月 日</p> <p>歳出金支払通知書</p> <p>下記のとおりお支払いしますから、支払銀行で お受け取りください。</p> <p>鳥取県出納長 氏 名 園</p>													
書類区分	年度	会計											
主務課													
(注) 必ず裏面の注意事項 を読んでください。	金額											円	支払銀行
	ただし、											銀行	
												店	
受取人													
住所													
氏名 殿													
(送金元銀行 銀行 店)										小切手第 号			
領 収 証 書	上記金額を領収しました。												
	年 月 日												
	住所												
氏名												㊟	
印 紙													

切取線

様式第6号 (第5条関係)

様式第六号を次のように改める。

資 金 前 渡 (概 算 払) 精 算 書											
部長	課長	総務室長	合 議	主 査	出納長	副出納長	会計課長	合 議	主 査		
カード	書類	年度	会 計								
1	8	5	7								
主務課	9	14		本書のとおり精算してよろしいか伺います。							
					35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45						
書類番号	第	15	18	号	金 額						
支 出 科 目					ただし、						
25		款									
27		項			受領額						
29		目			精算額						
31		節			差引額						
33		細節			内訳記号	47				56	
昭和 年 月 日受領した資金前渡 (概算払) を上記のとおり精算します。											
昭和 年 月 日											
所属課 職 氏 名 ㊦											
鳥取県知事 氏 名 殿											
摘要							返納通知書番号				
別紙証拠書類 枚添付							発行年月日				
							納入期限				
上記のとおり相違ないことを証明します。							同書照合済				
							資金前渡 (概算払) 整理簿記帳済				
職 氏 名 ㊦											

(経過措置)

4 この規則施行の際現に存する改正前の鳥取県会計規則又は部における会計事務手続の特例に関する規則の規定による用紙は、改正後の鳥取県会計規則又は部における会計事務手続の特例に関する規則の規定にかかわらず、昭和五十五年五月三十一日までの間、これを使用することができる。

昭和四年四月十五日第三種郵便物認可

発行所 鳥取県鳥取市東町一丁目 鳥

取 県

【定価一部一箇月千円(送料を含む。)】